

## メンバー紹介 「福井県原子力平和利用協議会」

<https://genheikyo.jimdo.com>

### 福井県原子力平和利用協議会(原平協)とは?

原子力発電をはじめとする「原子力平和利用の推進」を目指しています。平和利用を推進するには、住民に原子力を正しく理解してもらうことが重要です。このため、「原子力の正しい理解の輪を広げる」ことが、原平協の大きな活動の一つになっています。

原平協には、こうした考えや活動に賛同する民間の人たちが自主的に参加しています。

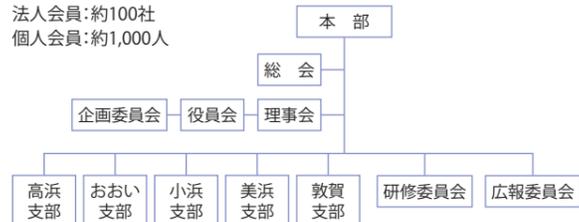
### 設立の経緯

1971年ごろ、関西電力の大飯1・2号機新設計画への反対派の運動が激しくなり、ついに町長のリコール騒ぎにまで発展しました。

こうした状況を見て、それまで個別に行動していた福井県嶺南地方の推進派の有志は、「安全確保を前提条件として、組織だった推進運動を展開すべきではないか」と話し合い、1972年1月30日に「福井県原子力平和利用協議会」が設立されました。

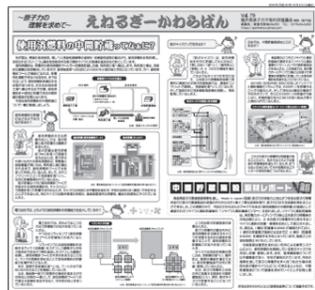
### 原平協の組織

法人会員:約100社  
個人会員:約1,000人



### 年間の主な活動

- 1月 発電所の安全運転祈願祭
- 1月 嶺南原子力新春の集い
- 4月 定期総会
- 7月 『原平協だより』発行
- 11月 エネルギーフォーラム
- 年4回 『えねるぎーかわらばん』発行(福井新聞にも掲載)
- 年3回 研修セミナー



原平協の広報紙「えねるぎーかわらばん」



電源開発(株)大間原子力建設所 建設現場展望台にて



関係省庁陳情 自民党加藤勝信総務会長に要望書を手渡す

# JAIF Regional Network TIMES

人をつなぐ・地域をつなぐーいっしょに明日の原子力を考える

2019年2月 Vol.

7

## 自分が理解したことを自分の言葉で！ 女性広報チーム「あつぷる」の活動を聞く



### JAIF地域ネットワーク 第19回見学会 概要

原産協会JAIF地域ネットワークは、2018年11月5～6日の1泊2日で「第19回見学会」を実施しました。この見学会には全国から16名の方が参加されました。

#### ■1日目:11月5日(月)

- 13:00 ●JR敦賀駅・駅交流施設オルパークに集合  
バスで「もんじゅ」に向け出発
- 13:40～16:10 ●日本原子力研究開発機構(JAEA)高速増殖原型炉「もんじゅ」視察
- 16:10～17:00 ●JAEA敦賀女性広報チーム「あつぷる」による活動紹介・意見交換

#### ■2日目:11月6日(火)

- 09:00～10:20 ●美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」視察
- 10:30～12:40 ●関西電力(株)美浜発電所視察
- 14:00 ●敦賀駅で解散



### お耳を拝借

## 食の境界線 この和菓子、呼び方によって 出身地がバレる?

「今川焼き」を調べてみると、小麦粉を溶いて鉄の鑄型に流し込み、あんを中に入れて焼いた和菓子とありました。江戸時代後半に神田・今川橋付近で売り出されたので、この名があるそうです。ただ、「今川焼き」と呼ぶのは首都圏を中心とした地域で、東海地方は「大判焼き」、関西地方は「回転焼き」が主流のようです。それ以外にも御座候(ござろう)、二重焼き、おやき、太鼓饅頭など、地域によって呼び名はさまざま。

ところで、「御座候」と聞いてピン!ときたあなたは、かなりの関西通です。実は「御座候」は兵庫県姫路市生まれの回転焼きの「屋号」に由来しています。その意味は、職人一人一人の「私が焼いた回転焼きでございます!」という気持ちなのだとか。大阪生まれの筆者は「回転焼き=御座候」で育った一人です。あなたの地域は、この和菓子をどう呼びますか?



### 編集 後記

『JAIF TIMES Vol.7』では、第19回見学会の様をお届けしました。日本原子力研究開発機構(JAEA)敦賀拠点における女性だけの原子力広報チーム「あつぷる」の皆さんとの意見交換では、分かりやすく伝えるとともに正しく伝えることの大切さを学びました。

JAEA敦賀事業本部では、廃止措置に向け作業中の高速増殖原型炉「もんじゅ」を見学させていただき、今までの研究の一端を肌で感じ、関係者の皆さんのご苦労に思いを巡らせました。また、美浜町にある日本初の体験型エネルギー環境施設「きいばす」では、全員が童心に帰り、楽しみながら自分の体を使ってエネルギーを作る体験をしました。運転延長承認された3号機と廃炉措置が決定している1・2号機が混在する関西電力「美浜発電所」。限られた敷地内での新規基準への対応や廃炉措置を進めることのご苦労を実感しました。1泊2日での強行スケジュールでしたが、天気にも恵まれ、おかげさまで充実した見学会となりました。

原平協の堤利市事務局長には、視察先との橋渡し役として大変お世話になりました。お忙しい中、案内役をお引き受けいただいた皆さまに、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

今後も皆さまの活動に役立てていただけるような内容を目指して頑張りますので、ご意見など、どんどんお寄せください。これからもよろしくお願ひ申し上げます。(ノムリエクス)

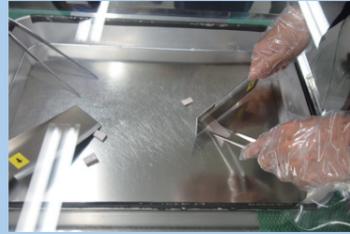
## JR敦賀駅前



敦賀駅前のオブジェ

## 「もんじゅ」視察

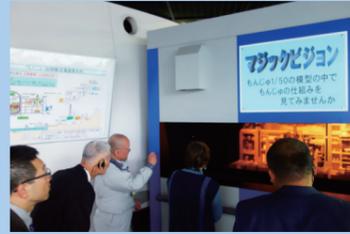
情報棟内模型での説明／ナトリウム棟、保守研修棟／中央制御室、タービン建物見学



ナトリウム切断体験



もんじゅナトリウム2次系温度計の説明



マジックビジョン(50分の1模型)による説明



蒸気発生器の説明

もんじゅ  
きいばす  
美浜発電所

## きいばす 美浜町エネルギー環境教育体験館

温暖化・森林破壊など環境変化が映し出される地球儀での説明／運動エネルギー測定／消費電力見える化／立ち乗り電動二輪車体験など

ホホウ  
これはオモシロイ!



ペッパー君

ボクが案内します



運動エネルギー測定体験



エルゴメーター発電体験



「昔体験農家」の体験



セグウェイ体験

## 美浜発電所視察

車内での美浜発電所全景および内部のVR(バーチャルリアリティ)見学(ドローンで空撮した発電所全体像、原子炉建屋、使用済み燃料プールなど)／発電所構内の見学



施設見学後の質疑応答



最後に記念撮影

11月5日

JR敦賀駅を出発

13:00

「もんじゅ」視察

13:40

「あつぷる」による活動紹介

16:10

11月6日

「きいばす」視察

9:00

「美浜発電所」視察

10:30

JR敦賀駅で解散

14:00

## 「あつぷる」との意見交換

### 1. 「あつぷる」について

- **発足**：1995年12月のもんじゅのナトリウム漏えい事故後、地元からの信頼回復が最重要課題と考え、有志の女性職員で96年秋に広報チームを結成
- **名前の由来**：誰からも親しまれる存在になりたいとの願いから「あつぷる」と命名
- **受賞歴**：文部科学大臣表彰「科学技術賞」(2009年4月) 原子力学会 社会・環境部会賞(2018年3月)
- **メンバー**：7名

### 2. 「あつぷる」の活動紹介

- **外部広報**：「もんじゅナトリウム漏えい事故の内容や、その後の改善状況など」について、原子力にあまりなじみのない主婦層や原子力以外の仕事をされている方々を対象にして、説明会を

福井県全域で展開。現在は「もんじゅ」の廃止措置の状況などを中心に説明

- **内部広報**：同じ職場で働く警備部門やIT部門など事務系の職員へ状況が変わるごとに説明。また、従業員の家族を対象とした職場見学会を開催
- **対話の工夫**：原子力の内容に限定せず、エネルギーや放射線、放射性廃棄物など、参加者の要望や関心事、年齢層に応じた資料を準備。専門的な内容はイメージしやすい身近なものに例えて説明するなど、興味・関心を持ってもらえるよう工夫。「自分が理解したことを自分の言葉で分かりやすく」をモットーに活動



### 3. 意見交換



**Q1** 女性層や若年層への活動では、どのような工夫をされているのでしょうか？

**A1** 相手の方との共通点を探して、事前の打ち合わせや対話しながら興味を持ってもらう努力をしています。女性層(主婦)の場合は、リラックスして参加してもらえる雰囲気づくりや、資料について色使いを工夫したり、イラストを用いてイメージしやすくなるよう心掛けています。

**Q2** 理解活動において、共感を得るにはどうしたらよいとお考えですか？

**A2** 難しい専門用語を使わないこと。相手の顔を見ながら話をし、自分が話している内容が伝わっているか確認しながら、ここだけは伝えたいという内容



をあらかじめ準備しておくことを心掛けています。

**Q3** 放射線を説明する中でたくあん煮や納豆など食品で例えていますが、福島県ではまだまだ風評で苦しんでいるのが現状です。また、小中学校では、放射線は見えない、匂わないと教えているので、このような例えを記載してしまうと、誤解する恐れがあるのではないのでしょうか？

**A3** 放射線は身近にあるということや、伝えたいという強い思いから、身近な食品で例えさせていただきましたが、誤解を招く恐れがあるというご指摘ありがとうございます。今後、例え話については誤解を招くことのないように注意して資料を作成していきます。



**Q4** 敦賀地域に根付いて活動されていますが、さらに広い範囲、例えば避難区域圏内の他府県でもぜひこのような活動をしていただきたいと考えます。いかがでしょうか？

**A4** 状況に応じて様々な部署が幅広く対外説明を実施しています。「あつぷる」は地元で「もんじゅ」のことを知ってもらおうと活動していますが、今後、より広い範囲での活動も検討していきたいと思っています。

**Q5** 理解活動では人集めに苦労しています。開催の時間帯についてお聞かせいただけますでしょうか？また、「あつぷる」の活動は業務として行っているのでしょうか？

**A5** 地域で開催される会合などでは、先方の希望時間に合わせて



活動を行っています。夜間の説明会などについては、メンバーで人選を行い、可能な限り対応しています。「あつぷる」のメンバーは総務や経理などの業務を持っていますが、活動は業務の一環として職場の理解の下行っています。

### 〈参加者のコメント〉

自分の経験から言うとう放射線を説明をする上での例えは、とても難しいです。言葉を柔らかくしたり、あまりにもかみ砕くと事実から乖離していき、誤解を招くことにつながります。そういった反省を踏まえ、私はわざわざ使わないようにしています。難しいですが、「分かりやすく、そして正しく伝える」とことは、とても大事なことです。